

四四二五番

防人さきもりに 行くゆくは誰たが背せと 問とふ人ひとを 見みるがとも  
ししさ 物思ものもひもせず

四四二六番

天地あめつちの 神かみに弊置ぬさおき 齋いはひつつ いませ我わが背せな  
我あれをし思もはば

四四二七番

家いはの妹いもろ 我わを偲しのふらし 真結まゆすひに 結ゆすひし紐ひもの  
解とくらく思もへば

四四二八番

我わが背せなを 筑紫つくしは遣やりて 愛うつくしみ 結えひは解とか  
なな あやにかも寝ねむ